

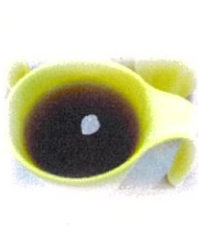
トワーム通信第35号

医療法人社団松弘会
介護老人保健施設トワーム熊谷
埼玉県熊谷市小曾根337-1
TEL: 048-599-3377

2023年5月発行

トワームお花見

今年も綺麗に咲き誇り私たちを楽しませてくれたトワームの桜。
桜の木の下に長机と椅子をセッティングして、
十萬石まんじゅうとお茶を提供。
デイケアのお客様達はリハビリスタッフと一緒に、
桜の木の下で桜餅を作って抹茶を点てました。
青空の下、桜の花びらが舞う中いただく
お菓子やお茶の味は格別だったようで、
「ずっとここで桜を見ていたい」
「毎日こうしてお饅頭が食べられたら良いね」
なんてお言葉がお客様から聞かれました。
満開の桜も本当にきれいでしたが、
その下で楽しめるお客様の笑顔も満開で、
スタッフ皆も嬉しくなりました。
更に風情ある空間を楽しんでいただく為に、
来年は桜の木の下であんみつ姫に
大正琴の演奏をしていただくのも良いかもしれませんね♪



外出イベント再開！！

コロナの流行により長らく中止となっていた外出イベント。
4月より再開し3階療養棟のお客様とお出かけして来ました。
行き先は熊谷ラグビー場のすぐ隣にあります「八木牧パークハウス」。
八木原牧場の直売所で、地元では「八木牧」の愛称で人気のお店です。
採れたての美味しい牛乳を使ったソフトクリームは絶品♪
緑に囲まれて美味しいソフトクリームを食べる・・・。
その特別感にお客様もとても嬉しそうでした。
またここ八木牧にはヤギとうさぎの小屋があります。
自由に触れ合うことができ、餌をあげる事もできます。
ヤギに手をベロベロされてキャーキャー言いながらも、
皆様とても嬉しそうに餌をあげていました。
あとをついてくるうさぎの可愛い姿にも癒されました。
5月は2階のお客様とお出かけ予定です♪



トワーム熊谷自慢の お食事紹介コーナー



4月は桜うどんや
桜散らし寿司等春
らしさのあるメ
ニューをご用意し
ました。
いかがでしたか？

5月からは1年を通して「スマイルホリデー」と
いう行事食をご用意予定です。
バスに乗ってお出かけしている気分♪
楽しく食事をしていただきたいです。

初回は「栃木県」です



最新型の機械浴【アラエル】導入しました！！

大変大変お待たせ致しました。ついにデイケアに機械浴が導入されました！！

しかも最新型のシャワードーム式の介護浴槽となります。機械浴というお湯を溜めて浸かっていたタイプのものでこれまでは主流でしたが、介護機器も進化しており、このアラエルはシャワードームの中に入って、ウルトラファインバブルの超微粒な気泡が全身をくまなく洗浄してくれ、更には身体の芯まで温めてくれるという優れたものです。実際にご利用いただきましたお客様からも、「すごく気持ち良かった」「身体がずっとポカポカする」などなどお声が聞かれており、大変喜んでいただいています。アラエルはお肌の潤いを保つ効果もあるそうで、私達スタッフも試してみたくまりました。(笑)

おやつレク



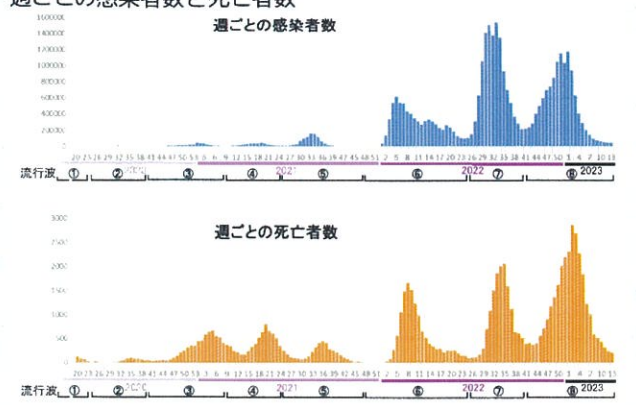
これまたお久しぶりのおやつレクでは「プリンケーキ」を皆様にご用意しました。まずはゼリーをつぶす作業から。この作業が皆様とても楽しそうでした。スポンジケーキの上にプリンをプッチンと乗せて、細かくつぶしてもらったゼリーを回りに盛り付けて出来上がり♪のどごしも良くて皆様あつという間に完食されていました。美味しいおやつを食べるご機嫌になられたお客様が、お歌を披露して下さる場面も・・・♪皆で作って一緒に食べるおやつは特別美味しいですね。次回もお楽しみに！！



施設長 矢島の独り言

2019年12月に武漢で発生した新型コロナウイルス(起源株、武漢株)による感染症(Covid-19: Coronavirus Diseases 2019)は、世界各地で変異株が生ずるごとに流行の波を起してきました。日本国内では大きく分けて8つの流行の波を経験しました(右図)。第5波はデルタ株、第6波以降はオミクロン株の亜種(BA1-5, BA.2.75, BW.1, XBB, BF.7, BN1)が主体になって起きる流行波です。オミクロン株は以前の株に比べて病原性が低いものの感染力が強く図のように第6波以降感染者数が増大しています。第8波の感染者数は第7波より少なくなっているように見えますが、死亡者数は増加しています(右下图)。死亡率が第8波と第7波で大きく違う要因は見当たらないので、感染者の検出率が低下して、実際の第8波感染者数は相当数多かったと考えられています。オミクロン株の病原性は低いとはいっても、肺炎、心疾患などの基礎疾患を有する高齢者では依然として死亡率は高いので要注意です。

週ごとの感染者数と死亡者数
死亡者数のグラフ(右下图)から見ると第6、7、8波と増大してきているので、第9波は更に大きな流行になる可能性があります。今後のCovid-19増加要因は以下の4つが考えられます。
①免疫の経時的低下: 従来株ワクチンのオミクロン株に対する発症阻止効果は約6ヶ月で10%まで低下します。重症化阻止効果は比較的長期間保たれますが接種後6ヶ月以上経過すると重症化阻止効果も低下します。後期高齢者や基礎疾患を有する死亡リスクの高い方には半年から1年ごとに追加のワクチン接種を行うようにとWHOが勧告しています。
②連休や5類感染症への変更による気持ちの緩みから接触機会が増加すると考えられます。
③流行株の変化が考えられます。オミクロン株も当初はBA1, BA4-5対応型の2価ワクチンが有効でしたが、最近免疫逃避能の高いXBB系統が増えてきています。
④第6波以降、医療機関や高齢者福祉施設でクラスター発生が増加していることも気になります。私たち施設職員は5類感染症に移行しても今まで同様コロナ対策を継続していきます。
基礎疾患を有する高齢者の方は、今後も気を緩めずに、3密を避け、年に1、2回定期的にワクチンを接種することが大切です。



日本における新型コロナウイルス感染症の流行波

① 第1波: 2020年第3週～第23週	⑤ 第5波: 2021年第25週～第47週
② 第2波: 2020年第24週～第39週	⑥ 第6波: 2021年第48週～2022年第24週
③ 第3波: 2020年第40週～2021年第8週	⑦ 第7波: 2022年第25週～第40週
④ 第4波: 2021年第9週～第24週	⑧ 第8波: 2022年第41週～2023年第13週

厚生省 第121回 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード資料(令和5年4月19日)